



笑顔。200ノ地域ニ

## 「都野津」×「高校」

2021年12月5日(日)に都野津の有志団体が主催した「都野津古民家学生イベント」に、江津高校と江津工業高校の生徒が参加しました。本イベントに地域の方が約200人参加され、両校は部活動のパフォーマンスや授業の実践活動などを披露しました。また、両校の生徒会が協力して運営の手伝いを行いました。

### 江津高校



江津高校がある都野津町で古民家イベントに参加し、地域の方や江津工業と一緒に地域を盛り上げ、地元の方に喜んでいただけたと思います。学校の探究での学びや部活動の成果をいかし、これからも地域の中で活動する場を見つけていきたいです。

### 江津工業高校



今回、江津高校と一緒にイベントをさせてもらって、普段他の学校がどのようなことをしているのかなどを知ることができたので良かったです。また、次は自分たちの学校のことを知ってもらえるような活動ができるように、これからも協力できるようにしたいと思います。

### 両校生徒会



当日、両校の生徒は、受付、物販、子供用のアトラクションの3か所に分かれて運営の手伝いを行いました。両校の生徒からは「両校や地域の方と交流ができてよかった。」「地域を盛り上げていく取り組みにもっと関わってきたい。」といった声が出ました。

「アオハル52」は鳥根県江津市にある県立学校3校と一緒に学校生活を楽しみ、学んでいく様子をお届けする情報誌です。昨年度から江津高校、江津工業高校、江津清和養護学校の3校で「まちで学ぶ」を考えるチーム、「GO▶GOTSUコンソーシアム」が

立ち上がり、それぞれの特徴を活かしたプロジェクトを行っています。

学校同士はもちろん、地域、企業と一緒にさまざまな「学び」「楽しみ」を作っていきたいと思っています。この情報誌では、そういった連携の様子をお届けしていきます。

GO▶GOTSUコンソーシアムは学校を超えて、様々な人、企業、地域、学校が協働し、お互いがいろんな自分に出会うことができる協働の種を探しています。協働の種が見つかった方はぜひ事務局までご連絡ください。

**GO▶GOTSU!**  
コンソーシアム

NPO 法人でござんと石見  
担当：藤田 / 竹内 / 齋ヶ原

tel : 0855-52-7820 mail : iwami@tegonet.net

江津高校  
×  
小学生



みんなで楽しく書き初め会

江津高校書道部がWINTER SCHOOL おでんに参加した小学生と交流を行いました。書道部員は、書道パフォーマンスを披露したり書き初めの宿題にアドバイスをしたりしました。参加した小学生は、間近で見る書道パフォーマンスの力強さに感動をしていました。



江津高校  
×  
大学 & 企業



県立大学や地元企業を  
訪問しました

11月に江津高校2年生が島根県立大学浜田キャンパスや大田・江津・浜田市内の企業を訪問しました。県立大学では、模擬授業を受講したり、大学生による研究発表を聞き、図書館資料を活用して外国の課題解決に挑戦したりしました。企業訪問では、職業についての説明を受け、工場見学などもしました。大学や企業の雰囲気や直接体験したことにより、将来の展望を抱ききかけになりました。

江津工業高校  
×  
国際交流



はなまる日本語学校で壁面修繕

江津本町にある「はなまる日本語学校」の保健室の壁が劣化していることを知り、地域課題に取り組む3年生が課題研究で修繕工事を行いました。日本語学校の方に手順を教えながら、2日間に渡り協働作業を行いました。施工前後の違いに驚きながらも喜んでもらうことができました。校長先生の善意で、最終日の帰りには「トクトク」で送ってもらい、貴重な体験をすることができました。



江津工業高校  
×  
川戸駅



地域の課題を自らの手で

令和3年12月11日(土)、建築・電気科3年電気コースの課題研究「旧JR三江線から地域課題を考える」班3名が、イルミネーションで桜江地域や水害に遭った方々を元気づけたいという思いから、イルミネーション点灯式を行いました。大勢の人に訪れていただき、乗車客で賑わった駅の姿がよみがえりました。駅舎天井には、桜江小学校の皆さんに模様を描いてもらったペットボトル200個をつるし、内部にLEDを取り付けイルミネーションとしました。



江津清和養護学校  
×  
地域



小学部社会科見学

小学校5年生の社会科の学習に「わたしたちの生活と食料生産」という内容があります。我が国の食料生産に関わる人々の努力や工夫について学習をするために、田んぼや漁港を見学に行きました。行き先は、藤田コーディネーターより紹介していただいた「株式会社MOG-MOGファーム」と「真和漁業生産組合」です。

事前学習では生産者の方のお話を録画した映像を見ながら、収穫量や輸送方法などを学びました。江津市でたくさんのお米や果物がつくられていることや、江津市で水揚げされた魚が関西や東京で販売されていることを知り、児童達から「そんなにたくさん作られているとは思わなかった」「江津じゃない所でも売られている」などの声が聞かれました。

当日は、感染症対策のためスクールバスに乗車したまま米やイチゴが作られている場所や、漁港の様子を見学しました。実際に自分の目で見ることでより関心が高まり、分かったことや感じたことをたくさん言葉にしたりメモに記入したりすることができました。

地域の生産者の方には、本校の児童の実態をご理解いただき、感染症対策にご協力いただきながら今回の学習を行うことができました。現地に出かけることで、学校で学んだことがより深まった貴重な体験となりました。